

CSW64
参加ガイドンス

JAWW 鴨澤 小織

CSW64 に参加する人のために

1. 渡航関係について
2. NY UNに行くまでの手配について
3. CSWのいろいろな会議について
4. その他のこと

**Women and
the Sustainable
Development
Goals**



CSW64 / Beijing+25 (2020)



Generation Equality:

Realizing women's rights for an equal future



渡航関係

《パスポートの確認》

《ビザ免除申請》 米国大使館 ESTA (エスタ)申請

公式ウェブサイトから

申請費用：\$14 (カード決済)

*ごく稀に電子申請が受理されない場合があるので早めに行うとよい



航空券、宿泊先の手配

- 渡航費：約10万円～12万円（燃油・現地空港税を含む）
 - 宿泊費:約 \$50～\$100～ 一泊、 値段はいろいろ
- ＜渡航費＞＋＜宿泊費 7泊＞＋空港・ホテル間の送迎費用=約18万～20万円くらい

- 標準的なスケジュール

行き (土)午前東京発→(土)午前NY着

帰り 翌週 (土) NY発→ (日) 東京着



NGOメンバーとして参加するための手続き

1. ECOSOC協議資格を持つNGOのメンバーになる

- 例：KFAW（（財）アジア女性交流・研究フォーラム） 学生賛助会員（年会費が必要）

2. NGO経由でUN CSWへの参加申込み (pre-registration)

UNの申し込み期間があり、参加人数調整のためNGOごとに締め切りがある。

⇒UNからの公式招聘状をNGO経由で受領する



3. 現地（国連関連の建物の窓口）で国連ビルに入る第1ステップとしてのIDカードGround Passを取得

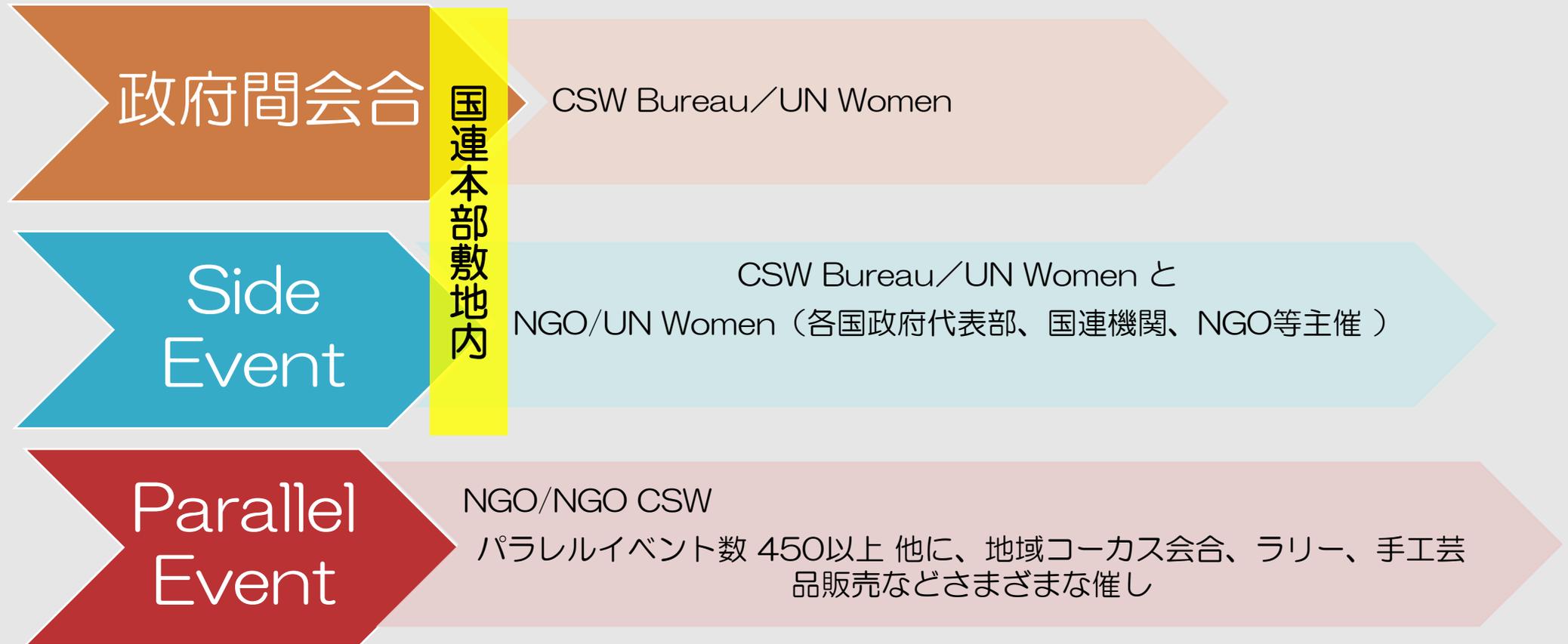
(on-site registration) 参加費：無料 320 East 45th street (between First and Second Avenue)（国連の外）

必要書類：UNからの招聘状とGround Pass フォームを印刷したもの + パスポート

- ただし、各日、国連ビルのCSW会議場に入るNGOの人数には、制限があるため、別の入場券が必要

UN Women、CSW64 のサイトで確認

CSW会期中の3つのことが同時進行



CSW開会式に参加





毎朝8:30 - 9:15 a.m. Morning Briefing

- CSWの進行状況を知ることができる



UN Women

62 - Informal NGO m

- NGOの参加者が自由に質問できる



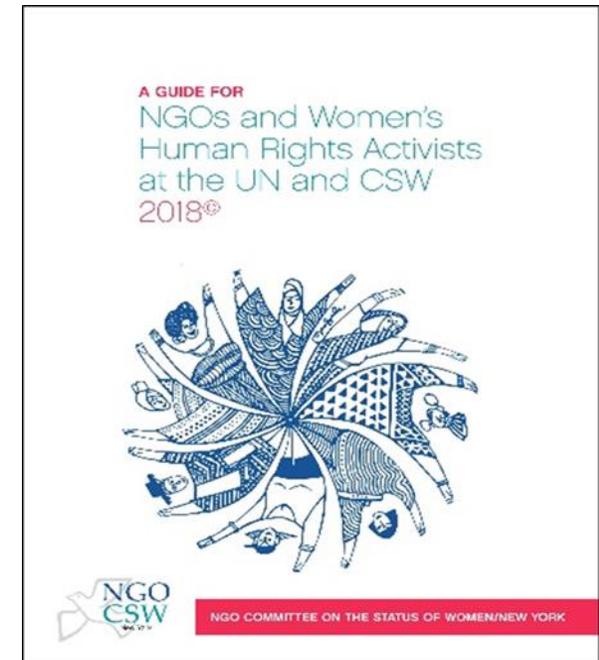
NGOとしてCSWに参加することとは

1. 政府間会議の傍聴 オブザーバー席で傍聴
2. 政府間会議での発言・意見表明（要事前提出） 発言、意見書の提出(Written statements)
3. サイドイベント等への参加
ロビー活動への参加 NGOによるトレーニング
いろいろな活動家との交流



アドボカシー・トレーニング

- NGO CSW/NYが主催しているParallel Eventのひとつ
- ネット上でも公開中の無料のテキスト
- CSWやその他の国連関係の会議で何が起きているのか
- 「国連で使われる英語」とは
- 私たちに何ができるのか
- 何回か開催されるので、日程を調べて参加



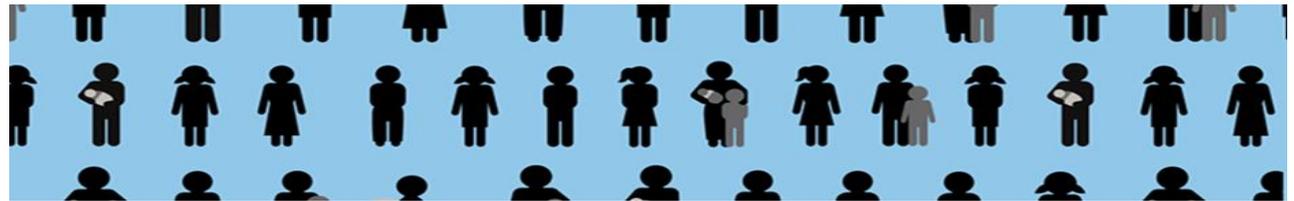


ユース向けプログラム (Youth Forum/Youth Dialogue)



その他

- グランドパスの登録:初日の朝は並ぶことになるので避ける方がいい。
書類が揃っていないと受け付けられない!
- 国連構内にスーツケースなど大きな荷物の持ち込みは不可。
- 朝（特に**10時前**）はセキュリティが混む。初日は特に混む。
- 人気のイベントは部屋が満員になるので、早めに行く。
定員を超えると入れてもらえない。
- 国連構内はwifiが使える！ コミュニケーションもSNSで。
- 国連構内は広く、動きやすい靴、服装がお勧め。
- コンピューターの持ち込み可。
- 国連内のカフェテリアあり。



帰国したら・・・

- 様々な会議やイベントへの参加する。
 - 多様な考えや、人に接し、ほかの分野にも関心を持つ。
- ⇒次につなげる



米ニューヨークの国連本部で開かれた「気候行動サミット」で演説するグレタ・トゥンベリさん（2019年9月23日撮影）

- 世界は動いている！

